

学校生活が少しずつ軌道の乗ってくる5月。学級としてのまとまりもでき始めているこの時期に、一人一人の子どもが自分の役割を自覚し、よりよい集団づくりをしていけるような支援をしたいものです。そのために、学級会や行事を工夫してみましょう。事前に大事にしたいことを子どもと共有した上で、実際の運営は子どもに任せ、子どもの姿を認め、励ます教師の姿勢を大切にしていきましょう。



<小学校>

学級づくりをキャリア教育の視点からみると

学級会、総意で決めるための要は…
「出し合う」ことと「比べる」こと

話し合いでは、問題の解決に向けた様々な意見から、総意として結論を出すことが大切です。議長や書記には次のように支援しましょう。

- ① 級友の願いから焦点を絞り、話し合いの見通しがもてるようにする。
- ② 個々の意見を出し合う時間を確保する。
- ③ 出された意見を比べ、願いに迫る意見はどれかを判断する。
- ④ お互いの意見の“折り合い”をつける。

総意としての結論を出せるようにすることで、合意形成する言語能力の育成が図られます。事前指導をしっかり行い、話し合いの時間はじっくり見守りましょう。書記には記録をきちんと取るように促すとともに、次の学級会で前回の記録を使ったときに、書記を褒めてあげたいですね。



友だち関係を広げるお楽しみ会のプラン
～遊びの中で育てる仲間意識～

小学校低学年の子どもは、遊ぶ体験を積み重ねていくことで、少しずつ仲間意識を身に付けていきます。この仲間意識の形成は、キャリア教育における【人間関係形成能力】にあたります。

- ①計画を立てる（子どもたちと考えを出し合い、計画し、準備をする。）
- ②プログラムを考える（子どもたちの活躍の場をつくる。）
- ③お楽しみ会の工夫（ルールや誰もが一緒にできる工夫）
- ④次のお楽しみ会につなげる（またやりたい、次の会につなげる。）

お楽しみ会でのゲームや遊びを通して、日頃は見えなかった子ども同士の関係や心のゆれが見えることがあります。お楽しみ会の後に子どもたちの姿や教師がうれしいと思ったことを子どもに伝えましょう。そのことを通して仲間意識や学級集団の意識が高まっていくでしょう。



<中学校>

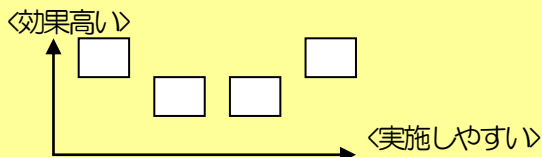
学級づくりをキャリア教育の視点からみると

学級会を活性化！

問題意識や改善意欲に満ちた話し合い活動へ

生徒の問題意識からスタートし、生徒主体の話し合い活動、集団決定が行われるよう、学級会をサポートしましょう。

- 1 議長が級友にアンケート実施
例)「授業中、大切にしたいルールとは？」
- 2 班長会で意見を集約
例) 班員の意見を付箋に書き、模造紙にまとめる。



- 3 学級会で議論
例) クラスで取り組む「授業中のルール」を決めよう！

学級目標！達成のために一人一人の工夫を

やるのが当たり前の委員会活動、係活動から、学級目標達成のため、課題を解決するための自主活動にしてみませんか。

- ◎自分にできることを明らかにしましょう。
 - ・学級の課題から自分の役割でできることを、キーワードで書き出しましょう。
 - ・その中から重点を決めて計画を立てましょう。
- ◎具体的な取組を共有しましょう。
 - ・学級目標達成に近づいたと感じた自分の取組をまとめ、発表しましょう。
 - ・発表から共通点や相違点をまとめ、効果のある取組をまとめましょう。
- ◎自分にできそうな工夫を取り入れましょう。
 - ・学級目標達成に照らして、自分の委員会活動、係活動に新たな工夫を加え、計画を修正しましょう。

